

## 北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）

### ミッション・ステートメント

2025年4月1日 改訂

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）は2016年11月に「北東アジアの平和と安全保障に関するパネル（PSNA）」を設置し、事務局をつとめてきた。ここにPSNAの新たな目的と今後の活動方針を記すことにする。

#### 1. 設置目的

RECNAの現在のミッションには、(1)核抑止に依存しないグローバルな安全保障の枠組み構築や、北東アジアでの核使用リスク低減と地域の非核化等に貢献できる調査研究や政策提言に力を込めること、(2)長崎大学が重視するプラネタリーヘルスの貢献に関して、RECNAも主に核兵器の問題に関わるグローバルリスク領域で貢献していくこと、が含まれている。このふたつのミッションの達成に向けて、PSNAはRECNAの諮問委員会の役割を担い、RECNAの求めに応じて助言する。助言は口頭又は書面で行われる。

#### 2. 構成

PSNAは北東アジアを含む様々な国・地域の平和と安全保障に詳しい専門家によって構成する。PSNAの人選・交代はRECNAが決めるものとし、定数は定めず、必要に応じてRECNAが決めるものとする。

#### 3. 開催

RECNAは必要に応じて、PSNAを開催する。原則として各年度に少なくとも1回、開催するものとする。様々な国・地域の専門家によって構成されることから、オンラインによる開催を原則とする。

#### 4. 研究活動

前記のように、PSNAはRECNAのミッション（1）（2）についてRECNAの諮問委員会の役割を担う。その一方で、必要に応じてPSNAは自らの助言に基づいて、PSNAメンバーによる、あるいはPSNAメンバーを含んだ具体的な研究計画をRECNAに提案することもできる。これはPSNAの本務に付随して実施されるもので、提案された研究計画の扱いはRECNAが決めるものとする。

#### 5. 任期と事務局

今後のPSNAは3年間をその活動期間とするが、RECNAでの合意によって活動を延長することができる。RECNAがPSNAに関する事務及び活動面での支援を提供する。

付記：2016年11月の設立後、すでにPSNA1&2が活動を終了している。この次のPSNAはPSNA3として役割を担うものとする。